

## Emergency Room

# M.D. Megumi Sobue

Nagoya University, School of Medicine, Japan  
(医師、名古屋大学医学部 非常勤講師)

日時: 2010年 5月18日(火) 16:30-18:00

会場: 東京大学工学部2号館 3F 31A会議室

### 要旨

近年、救急医療、災害時救助、医療において、工学の分野が進出しようとしている場は多い。しかし、現在の日本におけるこれらの医療、システム自体が、世界からは大幅に遅れを取っている。そして、工学分野の研究者は、実際の現場を見ることなく、想像の世界で、新たな研究・開発をすることとなる。果たして、本当に必要なもの、求められるものが開発されるのか。苦心したあげく、無用の長物になってしまうのか。研究段階では、どれだけ医師・救急隊などの意見を聞いても、明快ではない。

今回の講演で、具体的に何を開発してほしいというような提案はしない。世界の実際の救急医療現場、日本では、絶対に聞くこともない、見ることもない、想像を絶する殺伐とした現場を見せる。世界トップレベルの医療で、人の命を救い続ける毎日を送る外傷外科の現場を見てほしい。そこから、みなさんが、感じ、考え、自分たちが工学の立場から何が求められるのか、探索していただきたい。

日本の病院では味わうことのできない臨場感を味わってください。こんな世界もあるということ。

